

平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡA(SeminarⅡA)			授業コード	E002433			
担当教員名	卓 涓涓			科目ナンバリングコード	E21201			
配当学年	2	開講期	前期					
必修・選択区分	必修	単位数	2					
履修上の注意または履修条件	日経STOCKリーグに参加するためのレポートを作成するには、ゼミナールⅡAにおける証券投資理論の学習や入賞作品の研究報告などが必要となるため、ゼミナールⅡBからの途中参加はご遠慮ください。							
受講心得	予備知識は特に前提としませんが、積極的に取り組む姿勢が必要です。また、日頃から、日本経済新聞に目を通し、経済、金融、株式に関する記事に触れておきます。 講義ではテキストの報告、株式模擬取引の経過報告、新聞記事報告などを交代で行なうため、相応の時間をかけ、準備することが求められます。レポートを作成する時期には、グループごとにサブゼミを行ない、レポート作成に取り組んでもらいます。							
教科書	その都度紹介します。							
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。							
関連科目	金融論							

授業の目的	金融論の基本的なテキストや入賞レポートをチーム(3~5名)で輪読することで、基礎的な知識を修得します。その後、修得した知識に基づいてレポートを作成することを通じ、文章表現能力、データの収集・加工・分析能力を修得し、さらに、チームでの作業となるため、協同作業をし、お互いにコミュニケーションできる能力を身に付けます。また、レポート作成に必要な業界研究、とりわけ、金融業界の研究を行なうことで、早期の段階から、キャリア意識を持って、就職活動に臨めるようにします。
授業の概要	日経STOCKリーグに参加するためのレポートを作成することで、(1)証券投資を中心に金融全般に関する基礎理論を学んでいくことと、(2)それらの基礎理論を応用して、実際に自分が証券投資を行なう場合の投資戦略や投資家の証券投資行動が企業や実体経済に与える影響などについて、チーム(3~5名)で具体的な調査・分析・レポート作成の実践に挑戦することの二つを行なっていきます。また、夏季休暇中にゼミ合宿を行なう予定です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 日経STOCKリーグの学習内容や参加の流れなどについて説明します。	配布プリントによる解説を行ないます。
第2週：自己紹介 自己紹介を行ない、グループ決めを行ないます。	各自エントリー・シート(自己紹介文)を作成し、紹介を行ないます。
第3週：証券投資の基礎(講義形式) 証券と投資に関する基礎知識を講義形式で解説します。	配布プリントによる解説を行ないます。
第4週：グループ学習① 教科書をグループで学習し、関連資料を調べながら報告準備を行ないます。	テキストの担当レジュメを作成してもらいます。
第5週：グループ学習② 教科書をグループで学習し、関連資料を調べながら報告準備を行ないます。	テキストの担当レジュメを作成してもらいます。
第6週：教科書報告① 現在割引価値と株価(1チーム) 現在割引価値と株価についてチームプレゼンテーションを行なった後、プレゼンテーションの内容などに関する質疑応答を行ないます。	テキストの担当レジュメを配布してもらいます。

第7週：教科書報告② 株式投資のリスクとリターン(1チーム) 株式投資のリスクとリターンについてチームプレゼンテーションを行なった後、プレゼンテーションの内容などに関する質疑応答を行ないます。	テキストの担当レジュメを配布してもらいます。
第8週：教科書報告③ 株価指標と財務指標(1チーム) 株価指標と財務指標についてチームプレゼンテーションを行なった後、プレゼンテーションの内容などに関する質疑応答を行ないます。	テキストの担当レジュメを配布してもらいます。
第9週：教科書報告④ ポートフォリオ理論(1チーム) ポートフォリオ理論についてチームプレゼンテーションを行なった後、プレゼンテーションの内容などに関する質疑応答を行ないます。	テキストの担当レジュメを配布してもらいます。
第10週：グループ学習③ 過去の入賞レポートの先行研究 過去の入賞作品をサーベイし、レジュメを作成します。	先行研究をまとめたレジュメを作成してもらいます。
第11週：先行研究報告① 過去の入賞レポートの報告(2チーム) 入賞作品についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容や形式などに関するディスカッションを実施します。	先行研究をまとめたレジュメを配布してもらいます
第12週：先行研究報告② 過去の入賞レポートの報告(2チーム) 入賞作品についてチームプレゼンテーションを行なった後、内容や形式などに関するディスカッションを実施します。	先行研究をまとめたレジュメを配布してもらいます
第13週：グループ学習④ テーマ設定 習得した知識を用いて、グループで興味あるテーマを探し出します。	レジュメを配布してもらいます。
第14週：テーマ報告① 日経STOCKリーグのテーマの報告(2チーム) テーマについてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	レジュメを配布してもらいます。
第15週：テーマ報告② 日経STOCKリーグのテーマの報告(2チーム) テーマについてチームプレゼンテーションを行なった後、内容などに関するディスカッションを実施します。	レジュメを配布してもらいます。
第16週：期末試験 実施しません。	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブラーニング 「アクティブラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
備考	進捗状況によって、講義スケジュールが若干変更する可能性があります。

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	金融・証券投資に関する基礎理論などが説明できる。
【知識・理解】	金融・証券投資に関する基礎理論などを用い、レポートを作成することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	プレゼンテーションやディスカッションをすることができる。
【思考・判断・創造】	金融・証券投資という切り口から日本経済が直面する問題を考察することができる。

○成績評価基準(合計100点)		合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	20点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己的能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	プレゼンテーション実施のために作成するレジュメの内容、コンテストに参加するために作成するレポートの内容により加点します。
発表・その他 (無形成果)	プレゼンテーション実施のなかで、その内容や質疑応答をし、その解答に対して優れた学生には加点します。